

平成28年 4月27日

出雲市議会議長様

会 派 名 政雲クラブ

代表者氏名 山代 裕始



視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成28年6月1日 ～ 平成28年6月3日（3日間）	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	新潟県糸魚川市	・「0歳から18歳までの子ども一貫教育で、日本一の子供を育てる」について ・ジオパーク推進・整備事業について
	富山県南砺市	・世界遺産を活用した観光について ・世界遺産菅沼合掌造り集落について
	NPO 法人 G-net	・学生と地元企業を結ぶインターンシップ事業について
3. 参 加 者	山代裕始代表、坂根守副代表、板倉明弘副議長 松村豪人議員、大場利信議員、湯浅啓史議員 計 6 名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 別添のとおり	



平成 28 年 7 月 21 日

出雲市議会議長様

会 派 名 政 雲 ク ラ ブ

代表者 山代裕始



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日 程	平成 28 年 6 月 1 日 ～ 6 月 3 日（3 日間）	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	・新潟県糸魚川市役所 （糸魚川市一の宮 1-2-5）	・0 歳から 18 歳までの子ども一貫教育で日本一の子どもを育てる教育について ・ジオパークの推進・整備事業について
	・富山県南砺市 （南砺市）	・世界遺産を活用した観光について ・世界遺産菅沼合掌造り集落視察
	・岐阜県岐阜市 NPO 法人 G-net （岐阜市吉野町 6-2 ブラザービル 2F）	・学生と地元企業を結ぶインターンシップ事業について
3. 参 加 者	・政雲クラブ議員 6 人（山代裕始、坂根 守、板倉明弘、松村豪人、大場利信、湯浅啓史）	
4. 添 付 書 類	1. 行程表（別紙のとおり） 2. 報告書（下記のとおり）	

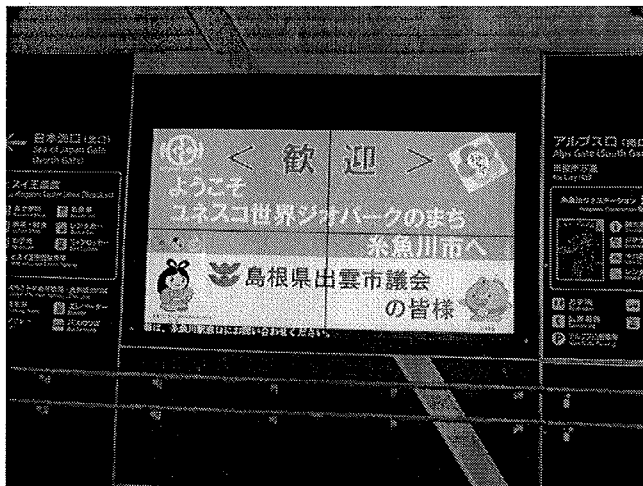
1 視察概要報告

1 糸魚川市役所での視察

概要（渡辺重雄副議長）

- ・H17 年 1 市 2 町合併。人口 5 万人。その後 5 千人減で現在 4 万 5 千人
- ・面積：746.24 m²。9 割が森林原野。全山が石灰岩
- ・予算：463 億円
- ・姫川港は全国的に評価されている。翡翠の工房跡も有名。災害が多い。
- ・議会は、3 つの常任委員会、2 つの特別委員会。





調査項目 1

「0 歳から 18 歳までの子ども一貫教育で、日本一の子供を育てる」

視察目的：導入経過、内容、成果を聞く。

説明：糸魚川市教育委員会こども教育課課長 山本 修（教員）

導入経過：人口減対策のプロジェクトチームからの低減により、平成 21 年度に「0 歳から 18 歳までの子ども一貫教育方針」を策定。それは次の 2 点が大切であると考えたからである。

- ① 政調の時期に応じ、連続性を重視した教育
- ② 家庭、地域、園・学校がそれぞれの役割を果たした交流・連携

内容：教育方針を受け、H22～H27 までの「子ども一貫教育基本計画」を定め、H26 に見直した。

0 歳～小学校入学前までについては、教育委員会が補助執行として所掌する。

中学校区単位で縦の連携を作り、保幼小中で教職員研修を実施。

H28 年度予算は 208 万円

- 成果：
- (1) 幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携が着実に進み、知・徳・体のバランスのとれた子供たちを育てる活動に取り組んでいる。
 - (2) 早寝・早起き・おいしい朝ごはん運動が定着している。「朝食を毎日食べる」児童・生徒の割合が全国平均よりも高く、品数の多い朝ごはんとなっている。
 - (3) 学校生活を楽しく送っている子供が多く、「学校に行くのが楽しい」割合が全国平均より高い。
 - (4) 地域行事に参加する子どもの割合が全国平均よりも高い。

課題：(1) 基礎学力の定着を目指して学校と家庭がさらに連携する必要がある。

- (2) いじめ、不登校対策に一層力を注ぐ必要がある。
- (3) 子ども一貫教育について市民への説明が十分とは言えない。

感想

- ・出雲市にはない教育方針及び計画であり、興味を持って調査に臨んだ。高校を含め、18歳で自立を目指す目的の一貫教育で、単なる小1ギャップや中1ギャップ対策でない長いスパンでの教育計画である。市内にある3つの高校と1校の特別支援学校の連携の連携の具体的中身を詳しく聞くことができなかったが、高校の運動部との連携など参考となるものもあった。
- ・課題として市民への説明が十分とは言えないと掲げられているが、具体的な点が聞けなかったのが残念であった。ただ、説明に当たった山本課長はこの制度の成果について自信にあふれていたのが印象的だった。

調査項目2：ジオパーク推進・整備事業

説明：産業部交流観光課長 渡辺 成剛

交流観光課ジオパーク推進係長 内山 俊洋

視察目的：目的、経過、現状、評価を聞く。

- ・ヒスイやフォッサマグナという地域の貴重な自然資源とそれに基づく歴史、文化的資源を一体的に保護・活用し、交流人口の拡大、地域振興を図ることを目的とする「糸魚川ジオパーク」は、H21年8月に日本で初めて**世界ジオパークに認定**された。
- ・今後更に市民が一体となってジオパークの普及と交流の拡大が図られるよう、ガイド養成や国際化対応など、受け入れ態勢の充実、案内板整備、情報発信、普及・啓発事業に取り組んでいる。

糸魚川市が考える課題

- ・ユネスコが支援する世界ジオパークの国内での認知度を高めること。
- ・ジオパークの取り組みは地域活性化事業として全国的に増えており、更なる認知度向上（他との差別化、優位性）を図ること。

感想

糸魚川市には、フォッサマグナとヒスイという全国的に知られた自然資源があり、これを活かした地域振興や子供の教育や生涯学習での活用がなされている。出雲市においても最近がらジオパークが言われるようになってきたが、果たしてそれに相応しいものがあるのかいささか疑問に思う。小林祥泰氏は日本海側の自然資源をジオパーク認定につなげようとしておられるが、まだまだマイナーであると思う。あまり手を広げないのが良いと思われる。

2 南砺市役所

世界遺産を活用した観光と世界遺産菅沼合掌造り集落および相倉合掌造り集落の視察

説明：ブランド戦略部文化・世界遺産課長 此尾 治和

ブランド戦略部交流観光まちづくり課長 船藤 統嗣

南砺市議会事務局主幹（総務係長） 岩本 真佐美

視察目的：観光資源として歴史・文化を観光資源の核とする南砺市五箇山の合掌造り集落（菅沼 9 棟と相倉 23 棟）の地域の歩みを見ながら、歴史・文化の認識、保護・保全、継承への取り組みや観光客受け入れの取り組みを見るため。

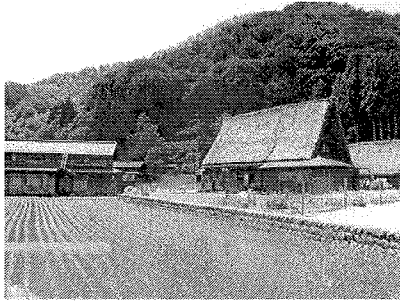
内容

- ・世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落（菅沼、相倉、岐阜県白川村萩町）」が H17 年 12 月 9 日に世界遺産に登録された。
- ・白川郷・五箇山の合掌造り集落の違い
五箇山の合掌造り集落：世界文化遺産、伝統的建造物群、**国指定史跡（S45 年）**
白川郷の合掌造り集落：世界文化遺産、伝統的建造物群のみ
国指定史跡になると、建物、土地、畑などすべてのものを指定を受けた時と同じ状態で残しておかなければならない。歴史上または学術上価値が高いと認められたものである。それを反映してか白川郷は観光地化し、多くの外国人観光客がいた。
- ・菅沼と相倉は建物の現状変更は認められず、例えば、自家用車駐車場は人の目につきにくい自宅裏や傾斜地の下に設けられているなど、現状変更へ厳しい規制がかけられている。菅沼には観光客はほとんどいなく、住民はつつましい生活をしているように見えた。
- ・相倉には、周辺景観に配慮した地域に観光客用の駐車場があり、民家の 1 軒がレストランとして食事や土産物を売っていた。菅沼集落と違い観光客を迎える用意はされていた。中国人の女性観光グループが数人いた。最近は中国人の趣向（爆買い）が変化したのか日本の素朴な姿を求める人もいるようだ。
- ・1 軒の民家に入らせてもらい中を見学した。2 階は元養蚕場で広く、また大家族制の名残りを示していた。因みに、ここの主人は写真撮影が趣味で、島根半島へも何度か言っているとのことであった。島根は神話の国で、神が住んでいる雰囲気強く感じるとのことであった。

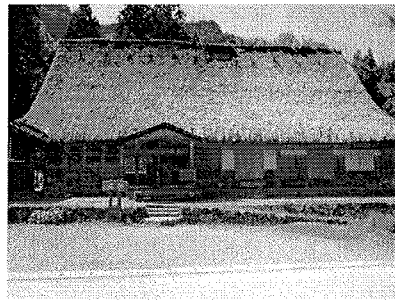
- ・最後に岐阜県の白川郷荻町の合掌造りを見に行った。ここはズバリ観光地で、大きな駐車場、多くの土産物店、レストランなど、他の二つに比べたくさんの観光客でごった返していた。従来型のマスツーリズムである。

感想

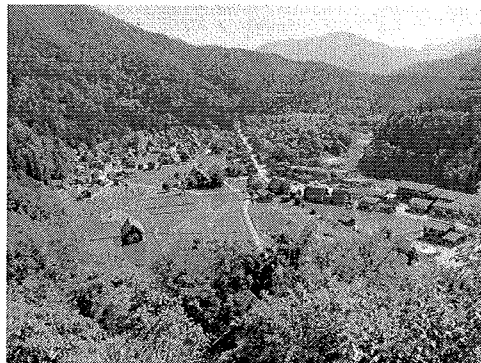
合掌造りという共通な歴史・文化資源を巡って全く異なった観光形態、すなわちニッチツーリズムとマスツーリズムを採っている。観光客のニーズに合わせるようこの地域で調整されたものなのか、国指定史跡のプライドを維持・継承することを採用した結果なのか、観光振興サイドから見ると興味深い。ただ、出雲市内で合掌造りに相当する歴史・文化遺産はないので、これに替わるものを見つけ出すことが必要と思われる。



菅沼の合掌造り集落



相倉の合掌造りの家屋



白川郷荻町を臨む。



白川郷荻町の観光展望台から

3 NPO 法人 G-net（岐阜市吉野町 6-2 ブラザービル 2F）

「学生と地元企業を結ぶインターンシップ事業について」

説明者：共同代表・理事・インターン事業統括部長 南田 修司

内容

- ・NPO 法人 G-net は、地域の中小企業と学生とをつなぐ。学生のインターン（ホンキ系インターンシップ）と就職・採用支援が主な事業。13 人の

スタッフで、年商1億円である。企業からの会費で運営している。

- ・「ホンキ系インターンシップ」とは、可能性の塊である若者が、「人生の師匠」と呼べる経営者と出会い、共に一つの目標にホンキで挑戦する機会である。若者のホンキが経営者や組織を鼓舞し、純真な若者との対話は経営者に新たな気付きをもたらす。経営者と若者との相乗効果が企業や組織の活性化をもたらす。「主体的」、「子弟」、「学び」、「変革」となる「長期実践」である。

事例1：有限会社大橋量器：フレキシブルな学生のパワーが伝統工芸（木升）を一步前へ動かした。

事例2：有限会社大橋量器：“家業”から“企業”へ若者と変える地場産業の未来

事例3：石本果樹園：年収300万円の農業界にみかん娘が起こした奇跡

事例4：山川醸造株式会社：醤油に魅せられた若者が地場産業の可能性を切り拓く。

事例5：愛知運送株式会社：終了後も続く関係 子弟から右腕への成長記録

- ・インターン生徒の募集は、大学の先生に依頼する。文系の学生が多い。インターンシップ期間は半年以上で、月額定額で4万円を奨学金として渡す。
- ・インターン先で就職する学生の割合は、5%程度である。
- ・年平均100人の卒業生のうち50人を会社に送り込む。
- ・2015年度には、地域の中小企業の「みぎうで」になる就職・採用支援を始めている。

感想

NPO法人G-netのユニークな取り組みは出雲市においても参考となると思われる。特に近年人材難や雇用のミスマッチが言われており、出雲市においても例外ではない。大学生と早い時点からコンタクトを取り、実地に事業現場を経験させ事業の面白さを体験させることは良いことであり、市においても取り組んでみるべきと思う。課題は、南田さんのような人材を探すことと、商工関係者のネットワークの構築であろう。

（報告者：大場利行）

平成28年 7月 19日

出雲市議会議長様

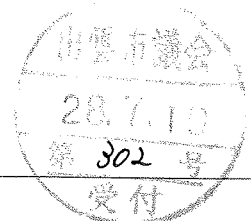
会派名 政雲クラブ

代表者氏名 山代 裕始 

視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成28年 7月21日 ～ 平成28年 7月22日（2日間）	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	国土交通省	国土軸と社会資本整備のあり方について （会場：国土交通省本省）
	財務省	日本国の財政等について （会場：参議院会館会議室）
3. 参 加 者	山代裕始、坂根守、松村豪人 板倉明弘、大場利信（別日程のため、日程等は別途） 計 5名（うち別日程2名）	
4. 添 付 書 類	日程表	



平成28年 7月29日

出雲市議会議長様

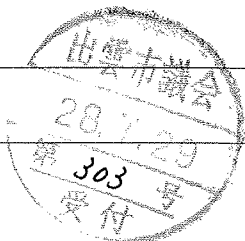
会派名 政雲クラブ
代表者氏名 山代 裕始



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	平成28年 7月21日 ～ 平成28年 7月22日（2日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	国土交通省	国土軸と社会資本整備のあり方について （会場：国土交通省本省）
	財務省	日本国の財政等について （場所：参議院会館会議室）
3. 参加者	山代裕始、坂根守、松村豪人 板倉明弘、大場利信（別日程のため、報告書は別途） 計 5名（うち別日程2名）	
4. 添付書類	報告書	



(研修報告)

1. 国土軸と社会資本整備のあり方について（国土交通省 担当審議官の講義）

地方創生は各地域が個性を磨き、競い合うものだが、これを高速交通体系などのネットワークで支え、対流を促進することが肝要である。

国として、これからの社会資本整備は、こうした対流を促進し、地域全体の生産性向上をもたらすよう、戦略的、重点的に推進する方針である。

国土軸は、欧米キャッチアップに効率的だった、東京・太平洋ベルト地帯への一極一軸の構造から、「多軸型」（北東・日本海・太平洋新・西日本）への転換を図っていく構想だ。

この日本海国土軸には、出雲市も含まれており、国の政策と一層連携を取って進めていくことが重要である。

本県石見部では、浜田から大田への山陰道の区間について、平成28年から事業化や開通が予定されている。浜田港や江津工業団地を拠点とした木質バイオマスの活用を通じ、地域振興を進めていく考えだ。また、鳥取県では、山陰道・鳥取自動車道の開通により、芝生の生産地から関西・関東方面へ高品質の芝生の納品を進めていく考えだ、今後、こういった高速道路ネットワークを活用した他地域との交流が一層重要となるだろう。

2. 日本国等の財政について（財務省 担当審議官の講義）

我が国の財政状況と今後の見通しについて、財政当局の立場から講義があった。

各種の数値については別添の資料に譲るとして、日本の財政は、国債と社会保障費に圧迫されており、現状のままでは、優秀な人材が海外に流出することが最大の懸念であるということであった。

社会保障費を賄うはずであった消費増税も延期され、我が国の財政の先行き透明感が払拭されない。

国政における課題であるものの、我々地方議員としても何ができるか、危機感をもって臨まないといけないと強く感じた。

平成28年 7月 4日

出雲市議会議長様

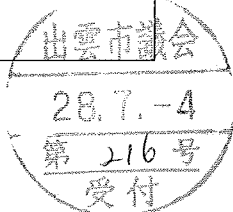
会派名 政雲クラブ

代表者氏名 山代 裕 始  (印)

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成28年 7月22日 ~ 平成28年 7月23日 (2日間)	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	群馬県嬬恋村	メディカル・ヴィレッジ(医療村)構想先進地 昨年5月がん哲学外来メディカル・ヴィレッジin万座 の設立宣言をされた。
		① 議会、行政、医療関係者、企業有志の設立 までの連携と協力内容。 ② 今後の取り組み方針と課題等
3. 参 加 者	板倉明弘 大場利信 計 2 名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 7/22 東京9:32 → 軽井沢10:34 → 嬬恋村12:30 新幹線 バス 別添のとおり 7/22 嬬恋村 視察13:00~15:00 軽井沢16:46 → 東京17:52. 新幹線 泊 7/23 東京羽田 → 出雲空港	



平成 28 年 8 月 1 日

出雲市議会議長様

会派名 政雲クラブ

代表者 山代裕始

報告書作成者 大場利信



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	平成 28 年 7 月 21 日 ～ 7 月 23 日（3 日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	・群馬県吾妻郡嬬恋村 千俣万座温泉 日進館 ・群馬県吾妻郡嬬恋村 大字大前 110 番地 嬬恋村議会	・「メディカル・ヴィレッジ構想」の具体化 に向けて、一般社団法人がん哲学外来の 一支部である万座温泉日進館での活動内 容を調査するため ・メディカル・ヴィレッジ構想の推進につ いて調査するため
3. 参加者	・板倉明弘副議長 ・大場利信文教厚生委員会委員長 計 2 名	
4. 添付書類	1. 行程表（下記のとおり） 2. 報告書（下記のとおり）	

1 行程表

7 月 21 日（木）：出雲空港（4 便）→羽田空港 *板倉副議長は第 2 便出発
赤坂エクセルホテル東急で泊

7 月 22 日（金）：8 時にホテル発→東京駅：北陸新幹線はくたか 555 号→軽
井沢駅→万座温泉日進館→嬬恋村議会→軽井沢駅 16 時
46 分北陸新幹線はくたか→東京駅
赤坂エクセルホテル東急で泊

7 月 23 日（土）：羽田空港（2 便）→出雲空港



2 視察概要報告

1 視察の目的

メディカルヴィレッジ構想を大社町鵜鷺地区に設けようと議会の4人の議員で検討を始めている。なぜ鵜鷺地区かということ、自然環境が癒しや病気を抱えた人の療養の場として相応しいこと、それに「がん哲学外来」の提唱者である樋野興夫順天堂大学教授のふるさとであり、教授自身も鵜鷺地区が療養の場として相応しいと考えられ、メディカルヴィレッジ構想シンポジウムで言及しておられることがその理由です。

孺恋村万座温泉は“日本初の医療村”のモデルとされ、具体的にどのような活動がなされているか、また孺恋村議会、行政の取り組みを調査するため、視察をしました。

2 万座温泉日進館：孺恋村議会 大野克美議員と懇談

ア 軽井沢駅から約1時間半、日進館の元総支配人の市村雅昭氏が運転するマイクロバスで到着した万座温泉日進館は、群馬県北西部で長野県と県境を接する孺恋村の北部にあり、標高1800mの高地に位置する温泉場で、古くから湯治場として栄えたところである。7件の温泉場があり酸性の硫黄泉を泉源（写真）としている。到着したとたんに硫黄の匂いが鼻をつく。

イ 孺恋村議会 大野克美議員（当選6期。議長経験あり。（株）日進館の元社長で現在は息子に譲り相談役。クリスチャン）の誠実で、物静かな案内で説明を受けた。

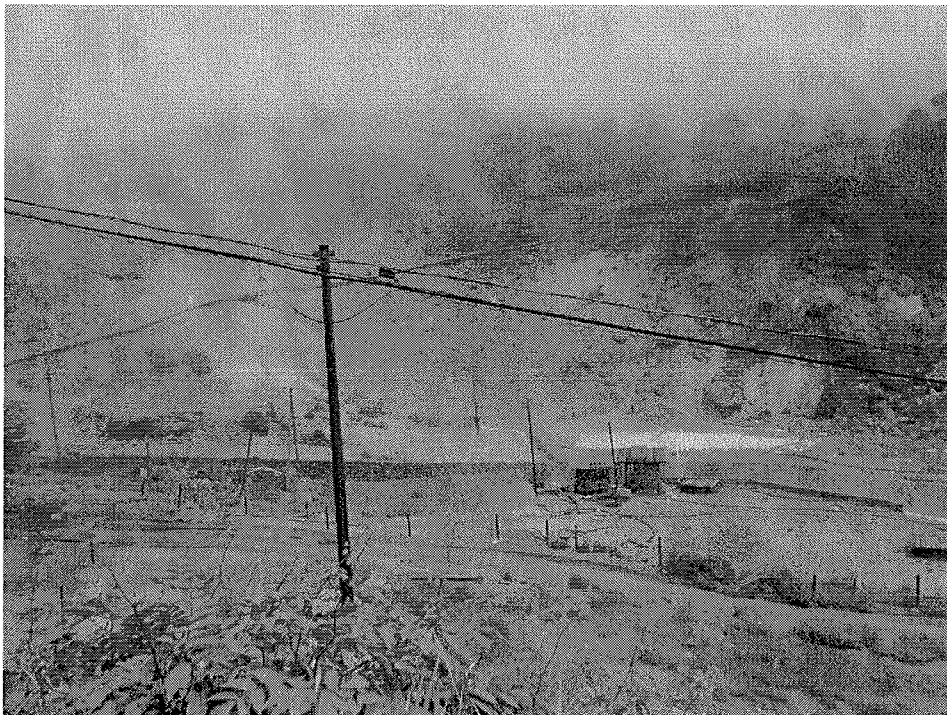
- ・標高1800mの高地にあり、気圧は810hPaで人の血管を膨らませる作用を持つ、泉源は高温でケイ素などの有効物質を含む、水道水は川から引かれており豊富なミネラルが含まれている、キャベツの一大産地である。
- ・メディカルヴィレッジ構想の協賛企業である日進館では、「がん哲学外来メディカルカフェ in 万座」で病気やけがを抱えた人の話を聞き、当事者とその家族に笑顔が見られるよう活動をしている。
- ・湯治サロンを設け、温泉の入り方や健康について気軽に話す場を毎日1時間行っている。
- ・「心と体の健康プログラム」の実施

標高1800mの高地にある万座温泉に来る人々は一言でいうと健康を求めて来ている。約10程度の健康プログラムを用意し、平日は必ず何かのプログラムを実施している。

3 メディカルヴィレッジ構想の今後の具体的な活動目標

- ① 村内の廃屋や廃校、または空き地を再利用しての介護の場の構築
- ② 地元企業や民間組織と連携し、患者やその家族の心のケア
- ③ 村外の周辺地域や組織、また国や県へのサポートの養成
- ④ 村への医療施設の誘致また既存病院との連携
- ⑤ 介護師士などの人材育成や募集、雇用への取り組み
- ⑥ 医療村としてのイメージの定着を図り、老人ホームなどの企業の参画を促し、人や物のストリーム（流れ）を活発化させる。

孺恋村でも介護などの問題が顕在化しています。上記の活動目標を推し進め、日本において先駆けて医療村モデルを実現し、近未来の介護、医療の活性化を目指す。



写真：万座温泉日進館の泉源（硫黄泉）。中央右の薄緑色の部分

4 孺恋村議会で議員等と懇談

ア 孺恋村の説明

- ・人口：1万2百人 ・一般会計予算：58億円
- ・観光産業：年間230万人、売上額：150億円、就業人数：4500人
観光客のうち約12万人が湯治に来る。夕方30分は湯治サロンを実施
- ・農業：キャベツ年間2,000万ケース出荷（日本一）、売上額220億円

就業人口：2,000人

- ・軽井沢町に隣接しており、別荘を持つ人、定住する人が増加している。
- ・アイススケートが有名。黒岩選手のような国際的メダリストを排出
- ・浅間山北麓ジオパーク構想の推進を行っている。
- ・田村 守元町長（4期16年）も出席。従業員80人の会社の会長で、自治医大の立ち上げややんばダム建設に奮闘

イ 「住民主役で健康長寿の村づくり」を目指す。

- ・健康寿命を延ばすことを主眼としている。
- ・高齢者健康調査の実施：「婦恋村にはフレイルな高齢者がどのくらいいるのでしょうか」が発刊
- ＊フレイルとは：加齢に伴い、筋力や心身の活力が低下した状態。

要介護状態に至る前段階

ウ 健康長寿社会の実現のためになすべきこと

① リスクを減らしてこと

- ・小さい時からの教育（食生活、認知症、がん教育）が大切。
がん教育は中学校から行っている。
- ・精神的ダメージやストレスは健康に与える影響は大きい。
→ がん哲学外来が必要

② 健診体制を充実

- ・受診率が低い。
- ・がん告知後の経済問題も課題。

③ 医療に託す

終末までに何をなすべきか → がん哲学外来が必要。

＊がん哲学外来が生まれた理由（樋野興夫先生）

医療現場は患者の病状や治療の説明をすることに手一杯、がん患者やその家族の精神的苦痛までを軽減させることができないのが現状。医療現場と患者の間にある「隙間」を埋めるためがん哲学外来が生まれた。

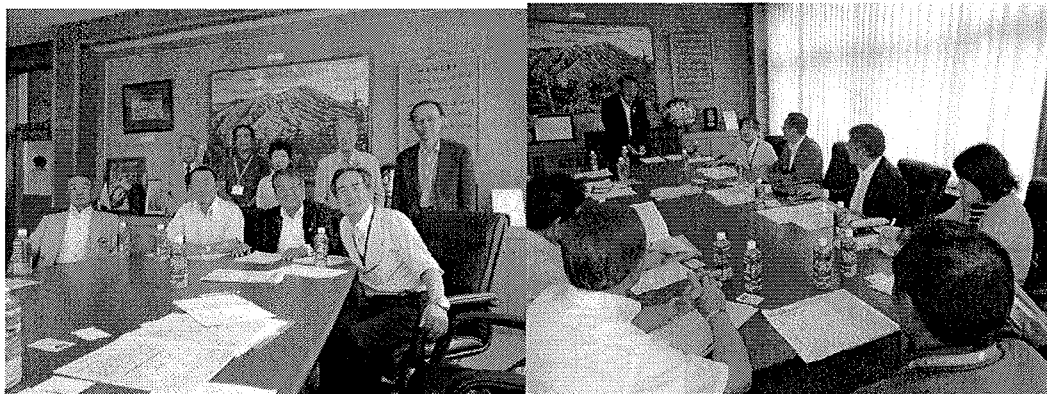
以上の①②③を婦恋村の重要な「健康長寿策」として、天賦の自然環境を生かし、今後も進めていく。

5 視察の感想

一日かけてじっくりと視察をした。婦恋村は「一人の人間を癒すためには、一つの村が必要である」との考えの下、「日本初の医療村のモデル」と位置付けられています。大社町鵜鷺地区とは自然環境が異なっていますが、きれいな空気と海という自然環境が癒しや病気を抱えた人、末期がんの人々

の療養の場としての環境は良く似ております。地元の人々の理解や出雲市内の医療機関との連携、空き家や学校などの再利用、地元企業や民間組織の協力など解決すべき課題はたくさんあります。

「がん哲学外来」を軌道に乗せるには今後これらの課題に真摯に立ち向かうことが求められます。婦恋村のモデルを参考に、理解を示す人材の養成も含め、今後さらに検討して参りたい。



写真左：婦恋村議会の議員各位と。前面が大野克美婦恋村創生委員長

写真右：奥に立って説明しているのが婦恋村熊川 栄村長



写真左：婦恋村議会での板倉明弘議員の説明

写真右：婦恋村議会での大場利信議員の説明

平成28年 9月26日

出雲市議会議長様

会派名 政雲クラブ

代表者氏名 山代 裕 雄 (印)

視察研修について (届)

(出雲市議会)
28.9.27
第393号
受付

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成28年10月19日 ~ 平成28年10月21日 (3日間)	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	全日本市議会議長会 研究フォーラム	・基調講演 ・パネルディスカッション ・意見交換会
		・課題討議 ・文化財活用事例視察
3. 参 加 者	板倉明弘 計 / 名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 10/19 出雲空港 7:50 → 羽田 8:10. 品川 10:10 → 青森 11:05 10/20 三島 18:23 → 品川 19:10. 品川 東武ホテル泊 10/21 羽田 7:10 → 出雲 8:35	

平成28年11月30日

出雲市議会議長様

会派名 政雲クラブ

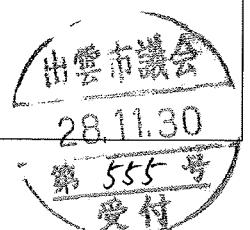
代表者氏名 山代裕始



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	平成28年10月19日～平成28年10月21日（3日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	全国市議会議長会	開会式 基調講演
	研修フォーラム1日目	パネルディスカッション
	研究フォーラム2日目	課題討論会
		文化財活用事例視察
3. 参加者	板倉明弘 計 1 名	
4. 添付書類	1. 行程表 2. 報告書 3.	



(所 感)
1 日目．基調講演 「二元代表制と議会の監視機能」
大森彌氏から下記の講演があった。
1．二元的代表制一憲法要請
2．二元的代表制に内在する対立の契機
3．議事機関と執行機関の抑制的均衡
4．議会総務委員会での集中審議
5．100 条調査
議員は、地域や職域を背負い、性別も年代も異なり、会派に分かれ、なかなか集合体としてのまとまった意思を形成しにくい。しかし、合議体としての議会が体をなすには、会派や議員から出されるさまざまな意見や議論を一つの意思に集約しなければならない。それに不可欠なのが対話・調整・集約のための議員間討議である。
パネルディスカッション
出雲市議会でも講演頂いた江藤俊昭先生をコーディネーターとして、斉藤誠氏の「法的視点から見た監視権の活用」、土山希美枝氏から「政策・制度の議会による制御としての監視・監査」、谷隆徳氏から「メディアからみた議会の監視権」、栗田裕之氏から「監視権の活用による議会改革～静岡市議会の取組」について意見発表があった。
2 日目．課題討論
「監視権を如何に行使すべきか」をテーマにして佐々木信夫先生をコーディネーターとして、討論がなされた。藤沢市議会から佐賀和樹氏が「100 条委員会を通じて」、和歌山市議会から井上直樹氏が「附属機関への参画と監視機能」、日田市議会の嶋崎健二氏が「地方創生に関する政策提言」の発表がなされ討論を行った。
文化財活用事例視察
富士宮市の富士山本宮浅間大社、裾野市の須山浅間神社、御殿場市の富士山樹空の森

平成28年10月20日

出雲市議会議長 様

会 派 名 政雲157
代表者氏名 山代 隆雄 (印)

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成28年10月31日 ~ 平成28年11月2日 (3日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	富山市 経済産業省	コンパネエでのまちづくり サリヤスの内容と仕組み
3. 参加者	計 2 名 山代 隆雄 坂根 亨	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	

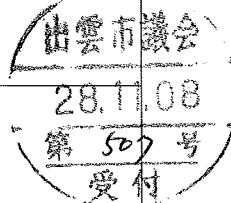
出雲市議会
28.10.20
第 697 号
受付

行政視察報告書

出雲市議会議長様

平成28年 11月 4日

委員名 政雲クラブ 山代裕始・坂根守



視 察 名	富山市のコンパクトシティでのまちづくり 経済産業省でリーサスの勉強	
視 察 期 間	平成28年 10月31日～11月2日	
視 察 先 及 び 調 査 事 項	富山市	コンパクトシティでのまちづくり
	経済産業省	リーサスの内容と使い方

視 察 所 感

富山市

富山市ではまちづくりの理念を「鉄軌道を軸とした拠点集中型のコンパクトな町づくり」とし、地域の拠点を「お団子」に、公共交通を「串」に見立てた「お団子と串」の都市構造を目指すとしています。

また都市マスタープランの理念に基づいて、都市機能が集積した「お団子」を形成するため「中心市街地活性化基本計画」や「まちなか居住推進計画」「公共交通沿線居住推進計画」を策定することとした。「串」の形成には「公共交通活性化計画」を策定しコンパクトなまちづくりを推進している。

特に住宅建設への補助・公共交通機関利用への補助は充実していると感じた。また高齢者を対象とした「おでかけ定期券事業」や「孫とおでかけ支援事業」はユニークであると感じた。出雲市も JR や一畑電車の利用策を官民上げて積極的に取り組まなければならないと感じた。

経済産業省

地域経済分析システム（RESAS）の現状と今後について学んだ。

講師は前出雲市の新産業支援室長の川越淳史さん、現在は経産省 地域経済産業グループ 地域経済産業調査室 室長補佐でした。

リリースを作った目的

①人口減少、過疎化が構造的に進展し、疲弊する地域経済を真の意味で活性化させていくためには、地域の現状・実態を正確に把握したうえで、将来の姿を客観的に予測し、そのうえで地域の実性・特性に応じた施策の検討とその実行が不可欠。

②このため国が地域経済に係わる様々なビッグデータ（企業間取引・人の流れ・人口動態等）を収集し、かつ分かりやすく「見える化（可視化）」するシステムを構築することで、真に効果的な施策の立案・実行・検証を支援する。

勉強会ではデーターを色々見せてもらい、その内容に驚きました、我々議員もこのシステムを利用して調査したり勉強したりしなければいけないと思った。全議員にリーサスを活用してもらいたいとも思いました。

平成28年11月30日

出雲市議会議長様

会派名 政雲クラブ

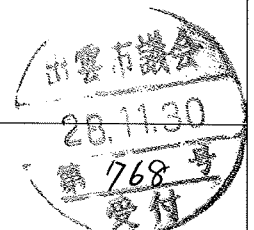
代表者氏名 山代 裕始



視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日程	平成28年12月 3日 ～ 平成28年12月 4日（2日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	日経ヘルスケア 病院再編セミナー 2016（東京都）	地域医療連携法人にどう取り組む
3. 参加者	松村 豪人 計 1名	
4. 添付書類	1. 行程表	

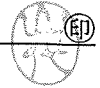


平成28年12月5日

出雲市議会議長 様

会 派 名 政雲クラブ

代表者氏名 山代 裕始



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日 程	平成28年12月3日 ～平成28年12月4日（2日間）	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	日経ヘルスケア 病院再編セミナー 2016（東京都）	地域医療連携法人にどう取り組む
3. 参 加 者	松村 豪人 計1名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 2. 報告書 3. 資料	



平成 29 年 1 月 10 日

出雲市議会議長 様

会 派 名

出雲757

代表者氏名

山代 裕也

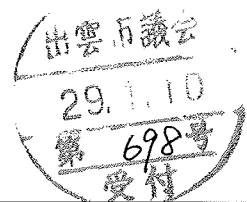


印

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成 29 年 1 月 15 日 ~ 平成 29 年 1 月 17 日 (3日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	佐治市	その一般公開に向けての施設の整理
3. 参加者	計 2 名 山代 裕也 山代 裕子	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	



行政視察報告書

出雲市議会議長 様

平成 29 年 1 月 20 日

委員名 政雲クラブ 山代裕始^{代表}・^{記入者}(坂根 守)

視 察 名 分散飼育地間の交流と情報交換

視 察 期 間 平成29年1月15日～17日

視 察 先

及 び

調 査 事 項

新潟県佐渡市

トキの一般公開に向けての施設の視察

視 察

「トキの森公園」の施設はどれも良くできていました。特に一般公開をしているトキふれあいプラザはトキに優しく特殊ガラスで人間はトキが見学できるがトキは人間が見えない様になっていました。トキ資料展示館は佐渡島におけるトキの歴史が一目でわかるようにしてあり素晴らしいものでした。

意見交換会では放鳥に対する農家の報告は苦労がたくさんあり大変だがみんなで協力し頑張っておられた。

出雲市の一般公開に対するアレルギーはないように感じた、これからは佐渡市と交流を深め、よい環境でトキを観察できるようにしてもらいたい。

出雲市での放鳥は簡単には出来ないと感じた。



平成29年 1月23日

出雲市議会議長様

会派名 政雲クラブ

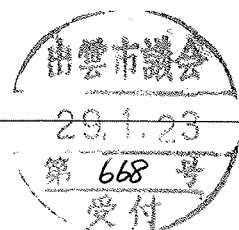
代表者氏名 山代裕始



視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日程	平成29年1月31日 ～ 平成29年2月1日（2日間）	
2. 視察研修先 視察研修目的	山口市	公民館による市民窓口の開設状況
	福岡市	郵便局による住民票等の交付窓口
3. 参加者	山代裕始 坂根 守 計 2 名	
4. 添付書類	1. 行程表 別紙のとおり	



行政視察報告書

出雲市議会議長様

平成29年 2月 4日

委員名 政雲クラブ 山代裕始 (坂根守)

視 察 名	各種証明書の交付方法について	
視 察 期 間	平成29年 1月31日～2月1日	
視 察 先 及 び 調 査 事 項	山口市	公民館による市民窓口の開設状況
	福岡市	郵便局による住民票等の交付窓口

視 察 所 感

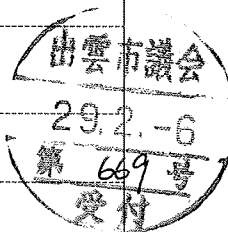
山口市

山口市は平成の大合併で人口198000人、面積1023平方キロメートルと広がった。そこで住民サービス向上の為に各種証明書等の交付を5カ所の支所だけでなく22カ所ある地域交流センターでも交付できるようにし、市民サービス向上に取り組んでいる。しかし各種証明書の発行は市役所の正規の職員でないと出来ない、出雲市のコミュニティセンターでの交付を検討してはと思っていましたが職員の配置等経費の面から難しいと思いました。

福岡市

福岡市は人口150万人の大都市、区役所だけの各種証明書の発行では混雑するので分散化を図ることにし郵便局にて交付している。市内34局での年間経費は3800万円と安く、その内訳は人件費が0円で借損料や通信料等であった、ただ初期投資が34局への端末機の設置料が必要。福岡市は離島もあり郵便局でのサービスは良い事であり、出雲市も中山間地や沿岸部での取り組みを検討すべきと感じた。

次にコンビニ交付についても説明を受けた、福岡市はすでに実施しておりコンビニ交付は店舗に機器を設置する必要がない事、土曜日日曜日祝日も利用可能のメリットがあるがデメリットはマイナンバーカードが必要であるが、普及率が低い現時点での利用が見込めないこと。出雲市も7月から実施するがマイナンバーカードの普及キャンペーンでも行い普及



率を向上させることが先であると感じた。